

都祁散策「都祁の氷室」を訪ねて

都祁公民館 2020.10.25



15:00 (閉講 解散) ① 都祁公民館 10:00 (開講・出発)

0.2 km 5分

3.2 km 50分

② 復元氷室

1999年に地元の方たちにより復元された。

毎年2月に3000kgの氷を搬入し、茅を小屋いっばいに詰め込んで密封。7月に「氷まつり」の時に運び出す。

今年の残量率は17%（20年前の残量率は70%）であった。



1 km 15分

③ 西念寺

江戸時代創建の融通念仏宗のお寺。観音堂に、県指定文化財の十一面観音菩薩立像が安置されている。

特徴的な茅葺屋根の建物が本堂で、毎年4月20日前後には、枝垂桜の名所としてにぎわう。



2.5 km 40分

4.6 km 70分

1 km 15分

⑥ 索道 針駅跡

かつて、京終-田原-山田-針-小倉を結ぶ「奈良索道」があり、物資の輸送に大きく貢献していた。

現在は基壇の一部が残るだけだが、田原で埋もれた基壇が発見されるなどして、静かなブームとなっている。



⑤ 並松池



都祁には溜池が多くあるが、並松池は最大のもの。田圃に囲まれた池の向こうに都介野岳が見えるなど、素晴らしい風景が残っている。

ドブガイの生息情報があり、絶滅危惧種となっているニッポンバラタナゴの生息の可能性もある池。

④ 氷室神社(昼食)

4世紀ごろ、仁徳天皇の異母兄弟の額田大中彦皇子が都祁の地に狩りに来た時に小屋を発見。この地を治めていた鬮鷄稻置大山主命に尋ねると、氷を貯蔵する氷室だと答えた。皇子は氷を持ち帰り、仁徳天皇に献上。天皇は喜び、以後毎年献上するようになったという。

都祁の氷室から宮中への氷の献上は奈良時代も行われていた。1988年の平城宮跡長屋王邸発掘調査では「都祁氷室」などと書かれた木簡が見つかった。

氷室神社は奈良市にもあるが、こちらの方は414年創建との説があり、日本最古とされる。

